

令和 2 年度事業報告

公益社団法人鳥取県人権文化センターは、鳥取県、市町村、民間団体等との密接な連携のもと、人権に関する専門機関として次に挙げる事業を行った。

区 分	事 業 内 容 ・ 成 果
<p>1 人権啓発事業</p> <p>(1) 調査研究事業</p>	<p>① 調査研究の実施</p> <p>○次のテーマで調査研究を行った。※カッコ内は終了(予定)年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットと人権 (R2年度終了) ・働く場のハラスメント (～R3年度) ・偏見 (～R3年度) ・災害と人権 (～R3年度) ・対話による人権学習 (～R3年度) ・新型コロナウイルス感染問題 (～R3年度) ・続 今後の部落問題学習をどう展開するか (～R4年度) <p>○調査研究の成果を活かして、次のことを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権学習資料「こころのえ!? 本」(インターネットと人権)の制作・配布リーフレット版、ポスター版 ・人権学習教材「くりえいとーハラスメントと人権ー」(働く場のハラスメント)の制作・配布 ・機関紙への啓発記事掲載 ・ホームページへの小論文(エッセイ)掲載 ・研修講師の派遣 <p>② 効果的な人権啓発手法等の研究開発</p> <p>研修等に参加して、最新の啓発手法及び様々な人権課題の現状等について学び、研修支援等の各種事業に活かした。</p> <p>延べ参加者数：16人 参加研修数：10件※うちWEB参加8件</p> <p>参加研修：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナとの共生時代の到来を受けてー改めてSDGs実施指針決定版を見直す(ヒューマンライツ大阪) ・COVID-19と先生 第1回、第2回(ヒューマンライツ大阪) ・アンコンシャス・バイアス ワークショップ(サクセスボード) ・ハラスメント相談対応セミナー(クレ・シー・キューブ) ・障害者差別解消法を知るための研修会(鳥取県福祉保健部) ・県研究集会特別講座(第45回研究集会) ・企業におけるCSR人権担当者向け実践講座(中小企業庁) ・社会を変えるための参加型プログラム体験(よりん彩人材育成共同事業) ・性的マイノリティ(LGBT等)支援学習会(米子市) <p>③ 効果的な事業展開・方向性等の協議</p> <p>○事業アドバイザー会議の中止</p> <p>次の理由で会議開催を中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COVID-19感染防止のため会議に参集することが困難 ・COVID-19のため特に年度前半の事業実績が少なく、事業分析が困難 <p>※R3年度はオンラインで開催の予定</p>

区 分	事 業 内 容
(2) 研修事業	<p>① 人権啓発指導者養成のための講座の開催</p> <p>○啓発者のための人権勉強会 人権啓発事業の企画・実施や、人権啓発・教育の場で講師等を担う人を対象として、企画力や講師力の向上をめざす勉強会を開催した。 開催数：8回 参加者数：49人 ・米子市人権推進課 9月29日、11月20日 ・倉吉市人権文化センター 9月28日、11月2日、1月12日 ・湯梨浜町人権教育研究推進委員会 12月9日、1月13日、2月10日</p> <p>② 一般啓発のための各種人権研修への支援・協力（講師派遣等）</p> <p>○研修講師の派遣 当センター職員を講師として派遣し、当センターが開発したプログラムを中心に、講演、ワークショップ、ふらっとカフェ形式の研修を行った。 派遣者数：76人 受講者数：3,376人</p> <p>・3ステップ研修の試験的实施 「研修前の内容協議・目標設定」「研修（アンケート実施）」「研修後の効果分析と学びの定着・発展方法の協議」の3ステップで行う講師派遣スタイルを、R3年度からの本格的実施に先立ち試験的に実施した。 鳥取県立米子東高等学校（第1学年生徒） 河原ソーイング株式会社（従業員）※COVID-19のため1ステップのみ実施</p> <p>・講師力のチェックとフィードバックの実施 研修講師としての技量向上のため、講師派遣時に他の職員が同行して講師力チェックを行い、後日フィードバックを元に改善策等を協議した。 実施回数：12回（研究員4人×3回）</p> <p>○人権研修等の企画支援（講師情報、研修内容や学習手法の助言等） 県内各地の人権研修企画者等に対して情報提供や助言を行った。 相談件数：27件</p>
(3) 啓発・情報提供事業	<p>① 機関紙の発行（年4回発行） 当センターの事業紹介・報告や、調査研究の成果を活かした啓発記事等を掲載し、機関紙を4回（例年は3回）発行した。 発行部数：2,000部／回 規格等：A4判4ページ、フルカラー、音声コード(Uni-Voice)付き 発行時期：6月(74号)、9月(75号)、12月(76号)、2月(77号) 配布先：正会員（自治体、社会団体）、賛助会員（企業、個人）、隣保館、小中高校人教主任、法務局、教育局、図書館、県内外関係機関等</p> <p>② 人権啓発パネルの作成と貸出 既存のパネル（全22種類）を米子市人権情報センターとふらっとの2ヵ所において無料で貸し出し、県内各地の公民館祭、解放文化祭、各種講演会等で活用された。 貸出先数：25団体 貸出セット数：46セット</p>

区 分	事 業 内 容
<p>(3) 啓発・情報提供事業 〈つづき〉</p>	<p>③ インターネットを活用した各種情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホームページによる情報提供 掲載記事数：40件（行事スケジュールの掲載を除く） 掲載内容： 調査研究エッセイ、メールマガジンの配信とバックナンバーの掲載、各種資料の発行（機関紙、人権学習資料、人権学習教材）、センター事業の予告・終了の周知（講師派遣、人権勉強会）、ふらっと事業の紹介（交流スペース展示等）等 ○フェイスブックによる情報提供 センターのホームページの閲覧者を増やすため、フェイスブックを活用して関連の情報を発信し、ホームページに誘導した。 掲載記事数：32件 掲載内容： メルマガ配信案内、機関紙発行の周知、調査研究エッセイのPR、ふらっと事業案内（交流スペース展示、ミニ学習会）、ふらっとサービスの一部制限の周知（COVID-19対応）等 ○メールマガジンによるタイムリーな情報の発信（月1回） 配信回数：14回（月1回の通常配信12回、番外編2回） 登録者数：169人（令和2年3月末時点） <p>④ 視覚障害に対応した啓発資料の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○点字版・音声版（カセット及びデジタイズ）資料の作成と配布 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度発行の人権学習資料（5セット）とセンター及びふらっとのリーフレット（各3セット）の点字版・音声版を作成した。 ・人権学習資料は貸出資料として点字図書館、鳥取市・倉吉市・米子市の中央図書館とふらっと人権ライブラリーに配架し、リーフレットは配付資料として人権ライブラリーに配架した。 ○機関紙への音声コード（Uni-Voice）の貼付 専用機器を使って読み取る従来のSPコードを、専用アプリを携帯電話等にインストールして読み取るUni-Voiceに切り替え、汎用性を高めた。 <p>⑤ 人権啓発グッズの制作と配布</p> <p>COVID-19の影響で集合型研修が減少する中、一人ひとりの人権に対する意識を日常的に喚起するための啓発グッズを制作した。</p> <p>グッズの種類：クリアファイル2,500個、ふせん紙（大、中）各1,500個 配布先：正会員（自治体、社会団体）、賛助会員（企業、個人）、隣保館、小中高校人教主任、法務局、教育局、図書館、県内外関係機関等 ※一部はR3年度も配布を継続</p>

区 分	事 業 内 容
(4) ネットワーク事業	<p>① 人権啓発関連団体との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」への参画 <ul style="list-style-type: none"> ・ COVID-19のため通常のスタイルを大きく変更し、東中西部の3ヵ所で「特別講座」が開催された。 ・ 当センターは3会場の受付要員として職員を2名ずつ派遣した。 ○人権啓発活動ネットワーク協議会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会への出席：4回 ・ 啓発活動：0回（COVID-19のため中止） <p>②啓発関連イベントへの協力</p> <p>COVID-19の影響でイベントが縮小・中止され、協力の機会がなかった。 職員参加：なし 着ぐるみの派遣・貸出：なし</p>
(5) 鳥取県部落解放研究所継続事業	<p>① 効果的な人権啓発手法等の研究開発</p> <p>人権啓発に係わる各種の全国集会・研究会等に参加し、全国の最新の啓発状況とさまざまな人権課題等の現状について情報収集した。 延べ参加者数：16人 参加集会数：4件 ※全てWEBによる参加 参加した集会等：第41回人権・同和問題企業啓発講座 第1部・第2部 第35回人権啓発研究集会 第45回部落解放・人権西日本夏期講座</p> <p>② 各種啓発資料等の作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権学習資料の発行 <p>調査研究「インターネットと人権」の成果を元に、プロポーザル形式でリーフレット版とポスター版を制作し、配布した。 作成部数：リーフレット 65,000部 ポスター(3枚組) 350組 配布先：正会員（自治体、社会団体）、賛助会員（企業、個人）、隣保館、図書館、公民館、教育局、県外関係機関等</p> ○人権学習教材の作成・配布 <p>調査研究「働く場のハラスメント」の成果をもとに、研修用の教材集として「くりえいとーハラスメントと人権」を制作し、配布した。 作成部数：700部 配布先：正会員（自治体）、賛助会員（団体）、教育局、人企連、就労関係機関（みなくる、自治労とっとり、労働局、労基署、ハローワーク、労働委員会等）等</p>
(6) 人権相談事業	<p>人権相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権相談への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水・土・日曜日に人権相談員1名が面談、電話、メール等で対応した。 ・ 複雑、高度な専門性を要する事案等は、専門機関や地元機関等と連携して対応した。 <p>相談件数：238件（面接6件、電話231件、メール1件） 相談内容：人権相談 2件（障がい者の就労1件、職場の嫌がらせ1件） 一般生活相談 236件</p>

区 分	事 業 内 容
(6) 人権相談事業 ＜つづき＞	<p>○各種研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性的マイノリティ(LGBT等)支援相談員人材育成研修（県総務部人権局主催／全7回）に相談員が参加し、性の多様性に関する相談対応について学んだ。
2 鳥取県立人権ひろば21「ふらっと」の管理運営	<p>指定管理者として、施設の管理運営を受託（2019～2023年度） 施設利用者数：2,868人</p> <p>① COVID-19への対応 感染防止のため次のことを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館制限（全面制限4/14～5/11、入館者数の制限～3/31） ・施設の消毒、換気、パーティションの設置、手指消毒液の設置、検温 ・来館なしの送料無料貸出サービスの開始（4/16～） <p>② 人権ライブラリーの管理・運営 貸出数：2,697点（図書 2,060冊、映像資料 637本） 新規購入：74点（図書 59冊、映像資料 15本）</p> <p>③ 交流スペースの管理・運営</p> <p>○パネル展示等 展示回数：9回 協力団体：困り感を抱える子を支援する親の会（らっきょうの花）、鳥取県ユニセフ協会、鳥取県福祉保健部健康医療局、琴の浦高等特別支援学校、鳥取聾学校写真部、白兔養護学校</p> <p>○ミニ人権学習会の開催（人権関連団体と協力して実施） 開催回数：3回 のべ参加者数：84人 ※うちWEBによる参加者は24人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「原発震災と福島は今～分断を越えて被災者の人権を考える～」 （とっとり社会派シネマクラブ）10月10日 ・「農村ビジネスによる男女共同参画の可能性について ーエチオピアの現場事例から」 （鳥取県ユニセフ協会）10月17日 ・「映画『ニジノキセキ』を通して考える社会のあり方」 （みーふあいゆー）11月21日 <p>○交流スペースの無料利用 人権に関わる活動単体の会議や定例会等の会場として、交流スペースを無料で貸し出した。 利用回数：20回 延べ利用者数：137人 利用団体：米子市人権政策課、琴浦町人権政策課、鳥取県ユニセフ協会、とっとり若者サポートステーション、NPOママの働き方応援隊、鳥取南更生保護女性会</p> <p>④ 視察研修への対応 姫路市上鈴総合センター市外交流人権研修会 10月18日 28人</p>

区 分	事 業 内 容
<p>2 鳥取県立人権ひろば21「ふらっと」の管理運営 〈つづき〉</p>	<p>⑤ その他施設の管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふらっとホームページの管理とフェイスブックによる情報配信 <ul style="list-style-type: none"> ・ふらっとに関する情報を随時ホームページで発信した。 交流スペース展示、新着図書DVD情報等 ・ホームページの閲覧者を増やすため、フェイスブックを使ってふらっと関連の情報を配信し、ホームページに誘導した。
<p>3 理事会・総会の開催</p>	<p>業務の適切な執行及び審議のため、理事会及び総会を開催した。</p> <p>① 理事会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1回通常理事会（書面議決） <ul style="list-style-type: none"> 期日：令和2年5月11日 議事： <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告及び収支決算について ・令和2年度補正予算（案）について ・役員を選任（案）について ・令和2年度定時総会の決議（案）について ○第1回臨時理事会（書面議決） <ul style="list-style-type: none"> 期日：令和2年5月27日 議事： <ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長、常務理事の選定（案）について ○第2回臨時理事会 <ul style="list-style-type: none"> 期日：令和2年10月28日 会場：県立人権ひろば21 “ふらっと” 議事： <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画（要望案）について ・令和3年度収支予算（要望案）について 報告： <ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長、常務理事の職務執行状況について ・令和2年度前期事業報告について ○第2回通常理事会 <ul style="list-style-type: none"> 期日：令和3年3月9日 会場：県立人権ひろば21 “ふらっと” 議事： <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画（案）について ・令和3年度当初予算（案）について ・令和2年度補正予算（案）について 報告： <ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長、常務理事の職務執行状況について <p>② 総会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定時総会（書面議決） <ul style="list-style-type: none"> 期日：令和2年5月27日 議事： <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告及び収支決算について ・役員を選任（案）について